

令和元年度

神戸市明るい選挙推進協議会

令和元年6月5日(水) 15:30～
神戸市役所1号館14階AV1会議室

令和元年度 神戸市明るい選挙推進協議会 委員名簿

(順不同、敬称略)

氏名	役職名	新任 再任	備考
たぶち はじめ 田淵 創	常磐会短期大学学長	再任	
かじき のりこ 梶木 典子	神戸市教育委員会委員 神戸女子大学教授	再任	
ながぬま たかゆき 長沼 隆之	神戸新聞社報道部長	新任	
きくち なつや 菊地 夏也	NHK神戸放送局放送部長	再任	
はやし しんいちろう 林 真一郎	ラジオ関西報道制作部長	再任	
ひ の あきら 日野 彰	サンテレビジョン報道部長	新任	
たかお ひろこ 高尾 ひろ子	神戸市婦人団体協議会副会長	再任	
もりた ゆうこ 森田 祐子	神戸市婦人団体協議会副会長	新任	
なかた ひろこ 中田 裕子	生活協同組合コープこうべ理事	再任	
ふ そ いくお 扶蘇 郁雄	NPO法人こうべユースネット 理事	再任	
ほあし ひろあき 帆足 広明	神戸市PTA協議会会長	再任	
しみず いさお 清水 勲夫	一般財団法人野外活動協会(OAA) 専務理事	再任	
はやみ じゅんいちろう 速水 順一郎	兵庫県青少年団体連絡協議会会長	再任	
わだ まごひろ 和田 孫博	神戸市私立学校協会会長	再任	灘中学高等学校長
ありもと ふみひろ 有元 文祐	神戸市立高等学校長会会長	新任	神戸市立楠高等学校長
しらい としひこ 白井 俊彦	神戸市立中学校長会会長	新任	神戸市立上野中学校長
まえかわ よしひろ 前川 義弘	神戸市小学校長会会長	新任	神戸市立真野小学校長
いわはま りえこ 岩濱 里江子	神戸市立幼稚園長会会長	新任	神戸市立神戸幼稚園長
いのうえ たかし 井上 考之	神戸市選挙管理委員会委員長	再任	
てらさか みつお 寺坂 光夫	神戸市選挙管理委員会委員長代理	再任	
もりわき ひでお 森脇 英雄	神戸市選挙管理委員会委員	再任	
やまだ てつお 山田 哲郎	神戸市選挙管理委員会委員	再任	

神戸市明るい選挙推進協議会 次第

1 開 会

2 神戸市選挙管理委員会委員長あいさつ

3 議 題

(1) 令和元年度正副会長の選出について

(2) 平成30年度選挙常時啓発事業実績報告について・・・・・・・・ 3頁

(3) 神戸市会・兵庫県会議員選挙啓発事業実績報告について・・・ 5頁

(4) 令和元年度選挙常時啓発事業計画(案)について・・・・・・・・ 7頁

(5) 参議院議員通常選挙啓発事業計画(案)について・・・・・・ 9頁

4 その他

(1) 市内大学生への意識調査 結果報告について・・・・・・・・ 別冊

5 閉 会

資料

資料(1) 神戸市明るい選挙推進協議会設置要綱・・・・・・・・ 10頁

参考

参考(1) 神戸市での各種選挙の投票率の推移

参考(2) 選挙人名簿登録者数（定時登録）及び在外選挙人名簿登録者数

（令和元年6月3日現在）

平成30年度 選挙常時啓発事業実績

○：新規事業

基本方針	事業の概要
<p>1 若い有権者の政治・選挙に対する関心を高める</p>	<p>(1) 新たな有権者への啓発事業 選挙権年齢の引き下げに伴う新たな有権者へのダイレクトメールの送付 【内容】 毎月新有権者となる18歳に送付 13,753件</p> <p>(2) 新成人への啓発事業 成人式で政治・選挙に関する情報を提供し、有権者としての自覚を高めた。</p> <p>(3) 若い有権者への啓発事業 ①政治・選挙に関心を高めてもらえるよう、大学祭等での啓発事業実施や大学の新生全員に配布されるサークル情報誌に啓発記事を掲載。 ②神戸市外国語大学での期日前・不在者投票の設置 期日前投票事務に従事してもらい、投票参加意識を高めることを目的に期日前・不在者投票所を設置した。</p>
<p>2 一般有権者の政治・選挙に対する関心を高める</p>	<p>(1) 婦人政治選挙講座 婦人有権者を対象に、政治・選挙、時事問題等についての講座を開催。 【参加人数】 923人 【開催回数】 延べ30回（7月～12月）</p> <p>(2) 話し合い事業 政治・選挙、時事問題等について、グループ学習を実施。 【参加人数】 320人 【開催回数】 11回</p> <p>(3) 各種研修会への参加（公益財団法人 明るい選挙推進協会 主催） ・都道府県・指定都市明推協全国フォーラム 都道府県・指定都市の明推協委員等が参加 【参加者】 2人 ○選挙出前授業見本市（於：神戸市） 都道府県・指定都市の明推協委員及び選管委員、職員等が参加 【参加者】 11人</p>
<p>3 将来の有権者の政治・選挙に対する関心を高める</p>	<p>(1) ポスター・まんがコンクール ①作品募集事業 明るい選挙の推進をテーマにポスター・まんがを募集。 【対象】 市内在住、在勤、在学の人 【募集期間】 5月～8月 【応募数】 ポスター 438点 まんが 284点</p>

基本方針	事業の概要
<p>3 将来の有権者の政治・選挙に対する関心を高める</p>	<p>② 明るい選挙をすすめる優秀作品展 【展示内容】 ポスター・まんがコンクールの特選及び 入選作品 107 点を展示 【会場】 市民ギャラリー（市役所 1 号館 2 階）及び花時計ギャラリー（さんちか南側地下通路） 【展示期間】 市民ギャラリー 3 月 18 日～3 月 29 日 花時計ギャラリー 2 月 21 日～3 月 6 日</p> <p>(2) 選挙啓発副読本の発行 中学 3 年生に向けた啓発用副読本の作成。 【発行部数】 13,500 部</p> <p>(3) 出前授業等の実施 ① 出前授業 高等学校 5 校、支援学校 4 校 ② 模擬投票用選挙物品の貸出 投票箱、投票用紙記載台、模擬投票用紙等の貸し出しを行った。 小学校 1 件、中学校 32 件、高等学校 16 件、支援学校 8 件</p>
<p>4 選挙についての情報提供を充実し、有権者の理解を深める</p>	<p>(1) 市広報紙・機関紙での記事掲載等 ① 寄付禁止の内容等を広く有権者に PR し、明るい選挙を呼びかけるため、市広報紙・団体機関紙に啓発記事を掲載。 【掲載時期】 8 月、11 月、12 月 ② 寄付禁止を啓発するため、自治会連絡協議会への配付などにより、有権者への周知を図る。 【送付時期】 12 月</p> <p>(2) インターネットによる啓発 ・選挙常時啓発用のホームページで、明推協運動等について紹介し、投票参加、明るい選挙の呼びかけ等を実施。 ・コンクールの優秀作品をホームページに掲載。</p>
<p>5 市・区明るい選挙推進協議会の活動を推進する</p>	<p>(1) 明るい選挙を推進するため、市・区明るい選挙推進協議会の活動を展開 ・明るい選挙推進協議会の開催 市：平成 30 年 6 月 5 日 区：平成 30 年 6 月に適宜、開催</p> <p>(2) 若い有権者の政治的リテラシーの向上 ○ 若い有権者の政治的リテラシーの向上を図るため、神戸市外国語大学在学学生を対象に、政治・選挙に関するアンケートとともに市外転入者の住民異動届の実態調査を行った（別紙報告書参照）。</p>

平成31年4月7日執行 神戸市会・兵庫県会議員選挙
 啓発事業実績

神戸市・区明るい選挙推進協議会

●は新規、▲は内容を変更又は充実した事業

神戸市・区選挙管理委員会

分類	項目	内容	期間	備考
掲示物による啓発	横断幕・懸垂幕	市・区・支所・出張所・連絡所庁舎、区民センター等に設置	3/15～ 4/7	27枚
	大看板・立看板 ・プラスチック看板	市・区・支所庁舎、事業所、交通センタービル等に設置	3/15～ 4/7	25本
	のぼり	市・区・支所・出張所・連絡所庁舎、公共施設、市バス停留所等に設置	3/22～ 4/7	278本
	地下街通路小旗	さんちか通路に小旗(ペナント)を掲示	3/22～ 4/7	28枚
	自動車ボディパネル	公用車・市バス等にマグネット式のボディパネルを掲示	4/3～4/12	300枚
	▲デジタルサイネージ(*)	市役所1・2号館ロビーに設置	3/29～4/5	2か所
	●市営地下鉄駅でのデジタル広告(*)	三宮・名谷・西神中央駅構内	3/25～4/7	3箇所
	市営地下鉄等での広告掲示(*)	地下鉄・市バス車内吊広告	3/29～4/7	地下鉄・バス 1,050枚
印刷物による啓発	明るい選挙をすすめる 作品コンクール優秀作品展	まんが・ポスターコンクールの優秀作品展示と併せ、投票参加を呼びかけ ①花時計ギャラリー(さんちか通路) ②市民ギャラリー(市役所1号館2階)	①2/21～3/6 ②3/18～3/29	
	「選挙のお知らせ」	投票日、投票の資格要件、投票場所等の周知とともに、投票参加と期日前投票活用を呼びかけ、市内全世帯に配布	期間中	新聞折込(日刊6紙・3/29) 529,300部 公共施設他 40,700部 計570,000部
	▲ポスター(*)	市・区・支所等庁舎、事業所、公共施設、地下鉄駅構内等に掲示	3月下旬～ 4/7	3,500枚
	ポスター掲示場	ポスター掲示場の表題枠に投票日等を刷り込み	3月中旬 ～ 4/7	2,575枚
	「投票のご案内」	有権者(世帯ごと)に郵送。投票日時、投票所の周知を徹底し、期日前投票の活用を呼びかけ	期間中	有権者全員
	市広報紙	広報紙KOBEで投票日の周知、投票参加・期日前投票の呼びかけ	3/1日号	
	機関紙・情報誌	各種機関紙や情報誌に投票参加・期日前投票活用の呼びかけ	期間中	サンケイリビング3/30号 K O B E グ ー 4 月 号 D ジャーナル3/22号 婦人神戸3/15・4/15号
	チラシ(転出入者用)	市・区・支所・出張所・連絡所窓口等で配布	期間中	6,000枚
選挙公報の余白利用	選挙公報の余白を利用して投票参加の呼びかけ	期間中		

分類	項目	内容	期間	備考
放送・通信による啓発	▲JR車内等映像広告(*)	JR普通321系、快速225系、普通323系電車の車内映像広告および主要駅のデジタルサイネージに、関西の4政令指定都市(京都・大阪・堺・神戸市)が共同制作した啓発映像を放映	4/1~4/7	京都線/神戸線/東海道本線/山陽本線/阪和線等 京都・大阪・新大阪・三ノ宮・天王寺駅
	テレビCM(*)	スポット広告放送 読賣テレビ/関西テレビ/朝日放送/毎日放送	3/29~4/6	
	ラジオ(市広報番組)	市広報番組(ラジオ関西「サンデー神戸」)の中で投票参加の呼びかけ	期間中	3/31、4/7
	ラジオCM	コミュニティFM(FMムーヴ)でのCM放送	3/29~4/7	神戸大学放送委員会が音源作成
	ケーブルテレビ(*)	ケーブルテレビの市政情報提供番組、CMで投票参加呼びかけ	3/29~4/7	J:COM
	街頭ビジョンでのCM放映(*)	三宮地区等の商業ビル外壁大型ビジョンで投票参加の呼びかけ	期間中	ハーバービュー ミントビジョン 9モイビジョン BOSセンター街 コミュニティビジョン (イオンモール神戸北・イオンモール神戸南) 神戸国際会館街頭ビジョン
	インターネット	市選管のホームページで投票参加の呼びかけ・投開票速報の実施	期間中	
	Eメールでの啓発	メールマガジン(神戸めるまが倶楽部等)の購読者に対する投票参加の呼びかけ	期間中	神戸めるまが倶楽部、神戸市東京事務所メールマガジン
	映画館でのスクリーンCM放映(*)	神戸市内の映画館でのCM放映	4/1~4/6	OSシネマスミント神戸(全8スクリーン) OSシネマス神戸ハーバーランド(全9スクリーン)
	▲棄権防止放送	・市・区庁舎、公共施設、鉄道駅構内、百貨店等での案内放送で投票参加の呼びかけ ・地下鉄・市バス車内放送での投票参加の呼びかけ	3/29~4/7	神戸大学放送委員会が音源作成
資材による啓発	ポケットティッシュ 他 市・区窓口等で配布 ①ポケットティッシュ、②ウェットティッシュ	期間中	①12,000個 ②4,000個	
若い有権者向け啓発	学生等による投票所事務従事	投票所事務に従事することで、学生等の選挙に対する理解を高める	期間中	
	学生向けメール配信	大学の協力をいただき、在学生へメール配信し投票を呼びかける	期間中	市内大学
	学内機関紙による啓発	新入生向け冊子に啓発記事を掲載し投票を呼びかける	期間中	神戸大学放送委員会
	●高校卒業生向け啓発チラシの配布	3月に高校を卒業する方に対し、県選管と連携し、投票参加や住民票異動に関する啓発を記載したチラシを卒業式等で配布	期間中	
その他	関係機関・地域団体への協力依頼	各関係機関・地域団体へ啓発活動に関する協力を依頼	期間中	ポスター配布ほか
	区独自啓発	区選管主体で区の地域性を活かした啓発事業の実施 【灘区】区内3大学と連携し、学祭への出展やその企画参加者の写真を活用した、選挙期日までのカウントダウン時計を組み込んだホームページを開設 【須磨区】商店街等で街頭啓発を実施(4/2) 【西区】特に若い世代への関心を高めるため、期日前投票所に区内工科大学と連携制作した、インスタ映えする顔出しパネルを4台設置	期間中	区選管・明推協委員、区職員 神戸海星女子学院大学 神戸大学 神戸松蔭女子学院大学 神戸芸術工科大学

(*) 関西4政令指定都市合同啓発事業

・平成19年より、近隣の政令指定都市、京都市・大阪市・堺市とともに4市合同で広域的な啓発事業を実施。

・前回平成27年に引き続き、今回も4都市をつなぐJR西日本の列車内の映像広告や、三ノ宮駅、大阪駅、京都駅等の主要駅に設置されているデジタルサイネージを活用し、広域的・効果的に啓発を行った。

・また、神戸市では独自啓発として、その映像を基に、ポスター作成の他、テレビCMや街中の大型ビジョン、映画館での広告等にも活用。

令和元年度 選挙常時啓発事業計画 (案)

○：新規事業

基本方針	事業の概要
<p>1 若い有権者の政治・選挙に対する関心を高める</p>	<p>(1) 新たな有権者への啓発事業 選挙権年齢の引き下げに伴う新たな有権者へ選挙啓発のダイレクトメールを送付する。 【対象】新たに有権者となる18歳 【内容】毎月新たに有権者となる18歳にダイレクトメールを送付</p> <p>(2) 新成人への啓発事業 多くの若者が集う成人式において、会場内の大型ビジョンを用いて政治・選挙に関する情報を提供し、有権者としての自覚を高める。</p> <p>(3) 若い有権者への啓発事業 若い有権者に、政治・選挙に関心を高めてもらえるよう、大学祭等で啓発事業を実施。 大学の新生全員に配布されるサークル情報誌に啓発記事を掲載。</p>
<p>2 一般有権者の政治・選挙に対する関心を高める</p>	<p>(1) 婦人政治選挙講座 婦人有権者を対象に、政治・選挙、時事問題等についての講座を開催。 【参加予定人数】約1,500人 【開催予定回数】約40回</p> <p>(2) 話し合い事業 政治・選挙、時事問題等について、グループ学習を実施。 【参加予定人数】約300人 【開催予定回数】月1回程度</p> <p>(3) 各種研修会への参加 ・都道府県・指定都市明推協全国フォーラム 公益財団法人 明るい選挙推進協会 主催。 都道府県・指定都市の明推協委員等が参加。</p>
<p>3 将来の有権者の政治・選挙に対する関心を高める</p>	<p>(1) ポスター・まんがコンクール ①作品募集事業 明るい選挙の推進をテーマにポスター・まんがを募集。 【対象】市内在住、在勤、在学の人 【募集期間】5月～8月 【応募予定数】ポスター 約600点 まんが 約400点 ②明るい選挙をすすめる優秀作品展 【展示内容】ポスター・まんがコンクールの特選作品約50点を展示</p>

基本方針	事業の概要
<p>3 将来の有権者の政治・選挙に対する関心を高める</p>	<p>【会場】花時計ギャラリー（さんちか南側地下通路） 【展示期間】花時計ギャラリー 令和2年2月27日～3月4日</p> <p>(2) 選挙啓発副読本の発行 中学3年生に向けた啓発用副読本の作成。 【発行予定部数】約14,000部</p> <p>(3) 出前授業等の実施 ① 出前授業について高等学校の受付は兵庫県が実施する。 (小学校、中学校、その他(大学等)は引き続き市が担当) ② 模擬投票用選挙物品の貸出 投票箱、投票用紙記載台、模擬投票用紙等の貸し出しを行う。</p>
<p>4 選挙についての情報提供を充実し、有権者の理解を深める</p>	<p>(1) 市広報紙・機関紙での記事掲載等 ① 寄付禁止の内容等を広く有権者にPRし、明るい選挙を呼びかけるため、市広報紙及び団体機関紙に啓発記事を掲載。 【掲載予定時期】7月、11月、12月 ② 寄付禁止を啓発するため、啓発チラシを作成し、自治会等への送付などにより、有権者への周知を図る。 【送付予定時期】12月</p> <p>(2) インターネットによる啓発 ・ 選挙常時啓発用のホームページで、明推協運動等について紹介し、投票参加、明るい選挙の呼びかけ等を実施。 ・ コンクールの優秀作品をホームページに掲載。</p>
<p>5 市・区明るい選挙推進協議会の活動を推進する</p>	<p>(1) 明るい選挙を推進するため、市・区明るい選挙推進協議会の活動を展開 ・ 明るい選挙推進協議会の開催 市：令和元年6月5日 区：令和元年6月に適宜、開催</p> <p>(2) 若い有権者の政治的リテラシーの向上 ○ 神戸市外国語大学在学学生に対し実施したアンケートの結果を踏まえ、新たな取組について検討する。</p>

令和元年7月執行予定 参議院議員通常選挙
啓発事業計画(案)

議題 (5)

神戸市・区明るい選挙推進協議会

神戸市・区選挙管理委員会

○は新規

分類	項目	内容	期間	備考
掲示物による啓発	横断幕・懸垂幕	市・区・支所・出張所・連絡所庁舎、区民センター等に設置	7月上旬～	30枚
	大看板・立看板 ・プラスチック看板	市・区・支所庁舎、事業所、交通センタービル等に設置	7月上旬～	25本
	のぼり	市・区・支所・出張所・連絡所庁舎、公共施設、市バス停留所等に設置	7月上旬～	300本
	地下街通路小旗	さんちか通路に小旗(ペナント)を掲示	期間中	30枚
	自動車ボディパネル	公用車・市バス等にマグネット式のボディパネルを掲示	期間中	300枚
	デジタルサイネージ	市役所1・2号館ロビーに設置	期間中	2か所
	市営地下鉄等での 広告掲示	・地下鉄・市バス車内吊広告 ・地下鉄駅構内電光掲示板による啓発	期間中	
印刷物による啓発	「選挙のお知らせ」	投票日、投票の資格要件、投票場所等の周知とともに、投票参加と期日前投票活用を呼びかけ、市内全世帯に配布	期間中	・新聞折込(日刊6紙) ・公共施設他
	ポスター	市・区・支所等庁舎、事業所、公共施設、地下鉄駅構内等に掲示	7月上旬～	
	ポスター掲示場	ポスター掲示場の表題枠に投票日等を刷り込み	7月上旬～	2,575枚
	「投票のご案内」	有権者(世帯ごと)に郵送。投票日時、投票所の周知を徹底し、期日前投票の活用を呼びかけ	期間中	有権者全員
	市広報紙	広報紙KOBЕで投票日の周知、投票参加・期日前投票の呼びかけ	7/1日号	
	機関紙・情報誌	各種機関紙や情報誌に投票参加・期日前投票活用の呼びかけ	期間中	・KOBЕゲー ・Dジャーナル ・婦人神戸
放送・通信による啓発	ラジオ(市広報番組)	市広報番組(ラジオ関西「サンデー神戸」)の中で投票参加の呼びかけ	期間中	
	ラジオCM	コミュニティFMでのCM放送	期間中	F Mムーヴ
	ケーブルテレビ	ケーブルテレビの市政情報提供番組、CMで投票参加呼びかけ	期間中	J : COM
	街頭ビジョンでの CM放映	三宮地区等の商業ビル外壁大型ビジョンで投票参加の呼びかけ	期間中	・BOSセンター街 ・コミュニティビジョン ・神戸国際会館街頭ビジョン
	インターネット	市選管のホームページで投票参加の呼びかけ・投開票速報の実施	期間中	
	OSNSでの啓発	フェイスブック等のSNSを活用した投票参加の呼びかけ	期間中	
	棄権防止放送	・市・区庁舎、公共施設、鉄道駅構内等での案内放送で投票参加の呼びかけ ・地下鉄・市バス車内放送での投票参加の呼びかけ	期間中	
資料による啓発	ウェットティッシュ 他	市・区窓口等で配布	7月上旬～	
若い有権者向け啓発	学生等による投票所事務従事	投票所事務に従事することで、学生等の選挙に対する理解を高める	期間中	
	学生向けメール配信	大学の協力をいただき、在学生へメール配信し投票を呼びかける	期間中	市内大学
その他	街頭啓発	兵庫県・区選管と連携し、駅周辺・商店街等で投票を呼びかける	期間中	
	関係機関・地域団体への協力依頼	各関係機関・地域団体へ啓発活動に関する協力を依頼	7月上旬～	

(名 称)

第1条 この協議会は、神戸市明るい選挙推進協議会（以下「協議会」という。）と称する。

(目 的)

第2条 協議会は、本市における明るい選挙の推進を効果的かつ円滑に推進するため、神戸市選挙管理委員会に協力することを目的とする。

(組 織)

第3条 協議会は、30人以内の委員をもって組織する。

2 協議会の委員は、次の各号に掲げる者のうちから、神戸市選挙管理委員会が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 報道関係者
- (3) 青少年団体、婦人会等民間団体の役職員
- (4) 教育関係者
- (5) 若い有権者
- (6) 神戸市選挙管理委員

3 委員の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。

(会長及び副会長)

第4条 協議会に会長及び副会長1名を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。

3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会 議)

第5条 協議会は、会長が招集する。

(庶 務)

第6条 協議会の庶務は、神戸市選挙管理委員会事務局において行う。

(補 則)

第7条 この要綱に定めるものの外、協議会に関し必要な事項は、協議会が定める。

附 則

この要綱は、昭和37年5月1日から施行する。

附 則

この要綱は、昭和40年6月1日から施行する。

附 則

この要綱は、昭和49年6月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成8年10月1日から施行する。

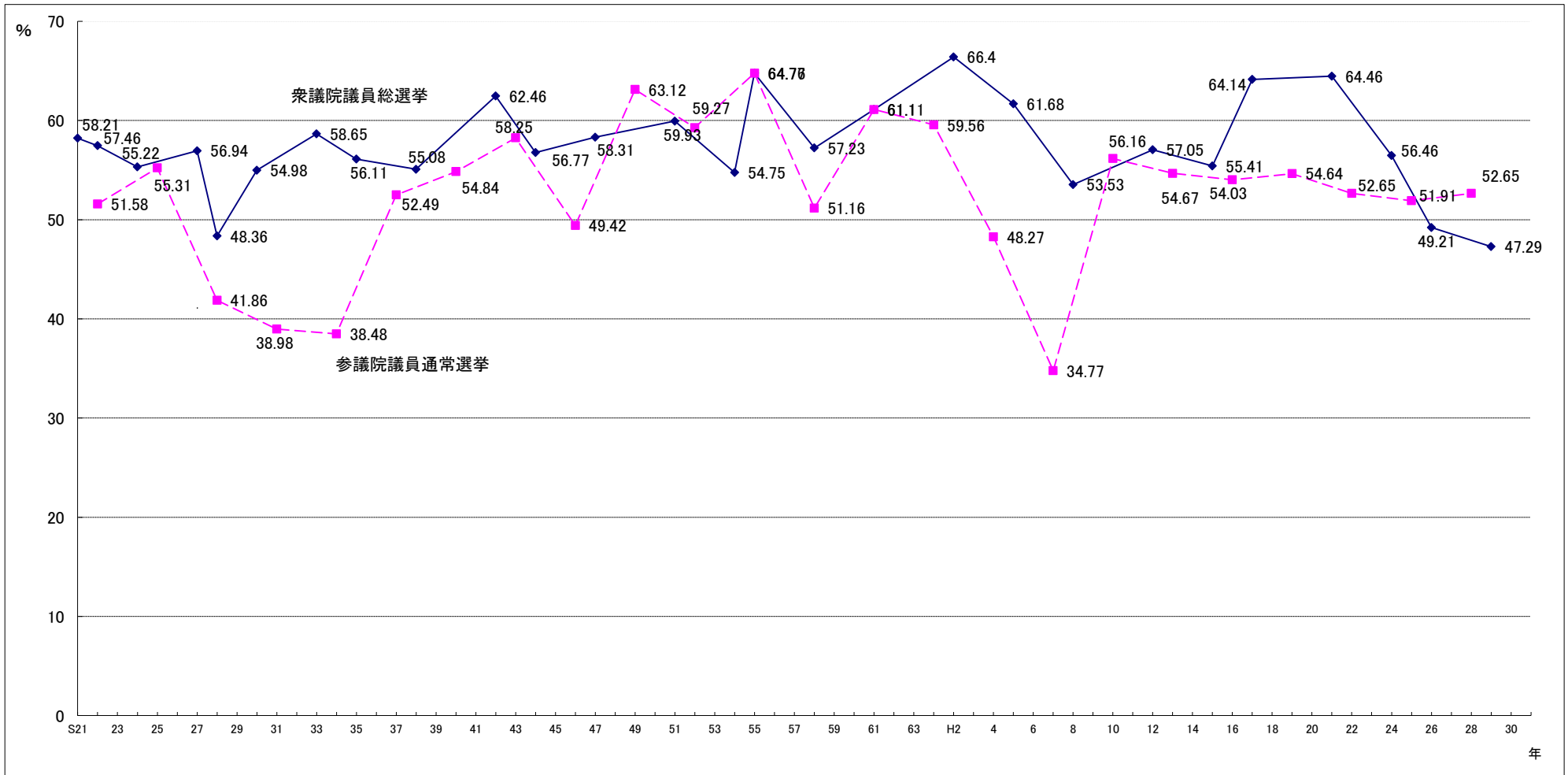
附 則

この要綱は、平成17年7月1日から施行する。

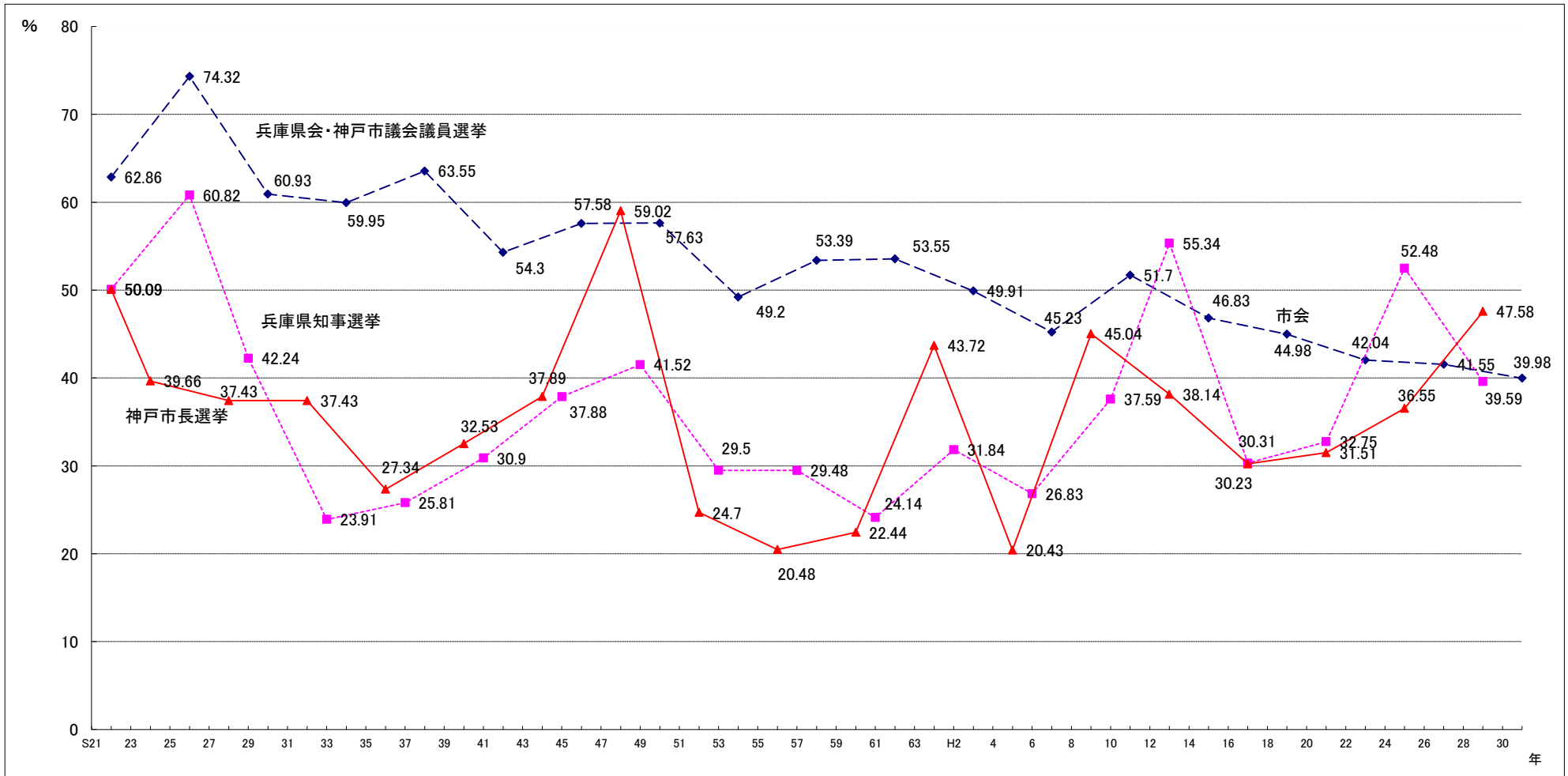
附 則

この要綱は、平成18年6月2日から施行する

神戸市での各種選挙の投票率の推移(1)



神戸市での各種選挙の投票率の推移(2)



選挙人名簿登録者数(定時登録)及び在外選挙人名簿登録者数

神戸市

区名	選挙人名簿登録者数(定時登録)			定時登録者数 前回(H31.3.1)	在外選挙人名簿登録者数	
	令和元年6月3日現在登録者数				R1.6.3現在	前回(H31.3.1)
	男	女	計			
東灘区	80,155	94,315	174,470	174,269	275	275
灘区	49,504	58,687	108,191	108,178	104	104
中央区	49,834	58,737	108,571	108,450	152	144
兵庫区	43,579	46,712	90,291	90,210	58	61
北区	85,721	96,307	182,028	182,288	132	132
長田区	37,958	42,173	80,131	80,161	54	52
須磨区	62,276	73,393	135,669	135,721	112	114
垂水区	85,122	98,807	183,929	184,175	153	151
西区	96,568	105,161	201,729	201,964	137	132
神戸市合計	590,717	674,292	1,265,009	1,265,416	1,177	1,165

市内大学生への意識調査 結果報告

令和元年6月

神戸市明るい選挙推進協議会・選挙管理委員会

目次

1. 市内大学生への意識調査 結果概要	1 頁
2. 集計結果	3 頁
3. 資料（アンケート調査票）	9 頁

市内大学生への意識調査 結果概要

1. 趣旨・目的

若い有権者の政治的リテラシーの向上を図るため、市内大学生を対象に、政治・選挙に関するアンケートとともに市外転入者の住民異動届出の実態調査を行い、調査結果を今後の啓発に活用する。

2. 内容

- (1) 対象 神戸市外国語大学に在学の全ての学生（2,408人、大学院含む）を対象として実施
- (2) 方法 神戸市選挙管理委員会事務局にてアンケートフォームを作成し、大学内の学生に対する連絡手段（学務システム）を利用して協力を呼びかけ、任意に回答を得た。
- (3) 実施時期 平成30年10月31日～11月30日
- (4) 回答数 268人（約11%）

3. 結果概要

(1) 住民票の有無

「住民票がある（自宅生または住民票を移している）」と回答した人が約6割、「住民票がない（自宅生以外で住民票を移していない）」と回答した人が約4割となった。

「住民票がない」と回答した人に理由を聞いたところ、「手続きするのが面倒だから」、「住民票を移す必要性を感じない」、「地元の成人式に参加したいから」といった回答が多かった。

また、住所地に住民票がないと投票が出来ないことを知っているか尋ねたところ、「知っていた」が約9割、「知らなかった」が約1割という結果になった。

(2) 平成29年10月実施の衆議院選（神戸市長選と同日執行）について

「投票した」と回答した人が約3割、「投票しなかった」と回答した人が約6割、「選挙権がまだなかった」と回答した人が約1割となった。

「投票しなかった」と回答した人に理由を尋ねたところ、「投票日に用事があった」という回答が最も多く、「選挙にあまり関心がなかった」、「政策や候補者の人物などについて、事情がよくわからなかった」という回答が続いた。

(3) 若い人の投票率を向上させるための有効手段

「SNS」が最も多く、続いて「インターネット広告」、「イベント・街頭啓発」、「ラジオ・テレビCM」、「グッズ配布」となった。

また、自由回答として、「若い人気芸能人のCM起用」、「教育現場に選挙に関する学習を取り入れる」、「誰に投票すればいいのかわからないので、政党や候補者の政策をわかりやすく提示する」、「ネット投票の実施」、「投票所を各学校に設ける」等の回答があった。

(4) 「期日前投票」、「不在者投票」制度について

「知っている」と回答した人が約9割、「知らない・聞いたことはあるが内容についてはよくわからない」と回答した人が約1割という結果となった。

4. まとめ

今回の主要な目的の一つである住民票の異動について、自宅生以外の人のうち、住民票を現住所地に移していない人の割合が約72%と高い割合を示していた。

住民票が現住所地になければ住所地で選挙ができないことについては多くの人が知っており、知りながらも住民票の異動について「手続きが面倒」「必要性を感じない」ことから行っていないことが推察される。

一方で、期日前投票や不在者投票制度については、約9割の人が知っており、活用についての働きかけが必要である。

平成31年4月7日執行の統一地方選挙に投票すると答えた方が全体の約4割にとどまっており、今後は、住民票の異動の重要性を引き続き周知を行いながら、若者に伝わりやすいSNSの活用など、実際に投票行動を促すような啓発を検討し取り組んでいきたい。

市内大学生への意識調査 結果集計

1. 趣旨・目的

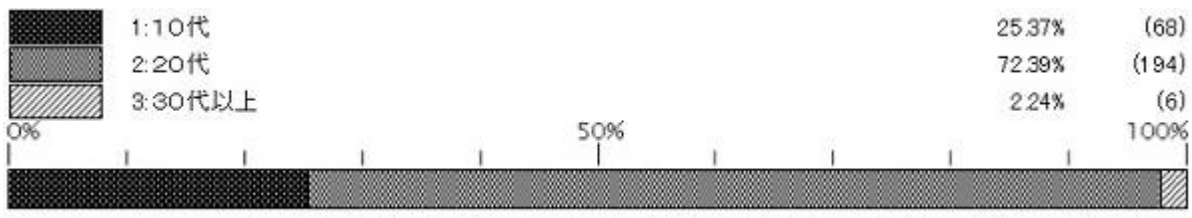
若い有権者の政治的リテラシーの向上を図るため、市内大学生を対象に、政治・選挙に関するアンケートとともに市外転入者の住民異動届出の実態調査を行い、調査結果を今後の啓発に活用する。

2. 概要

- (1) 対象 神戸市外国語大学に在学の全ての学生（2,408人、大学院含む）を対象として実施する。
- (2) 方法 神戸市選挙管理委員会事務局にてアンケートフォームを作成し、学生に対する連絡手段（学務システム）を利用して協力を呼びかけ、回答していただく。
- (3) 実施時期 平成30年10月31日～11月30日
- (4) 回答数 268人
- (5) 景品 回答いただいた方の中から抽選で1,000円のQUOカードを授与

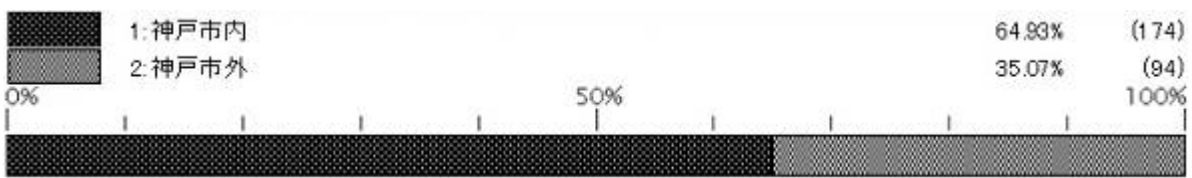
問1 【必須】 あなたの年齢を選択してください。

- (1) 10代 : 25.37% (68人)
- (2) 20代 : 72.39% (194人)
- (3) 30代以上 : 2.24% (6人)



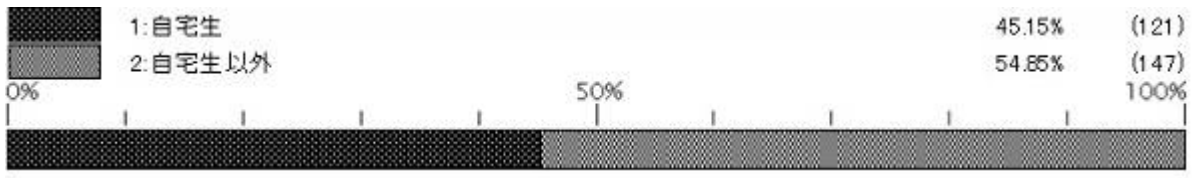
問2 【必須】 あなたの今お住まいの地域を選択してください。

- (1) 神戸市内 : 64.93% (174人)
- (2) 神戸市外 : 35.07% (94人)



問3 【必須】 あなたは実家から通っている「自宅生」ですか、それとも「自宅生以外」ですか。

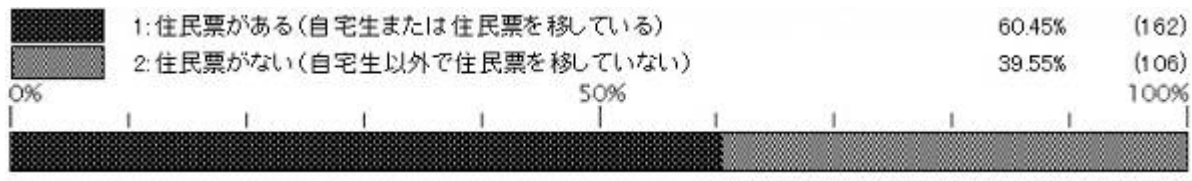
- (1) 自宅生 : 45.15% (121人)
- (2) 自宅生以外 : 54.85% (147人)



問4 【必須】進学や就職などで実家から転出された方は、原則、現在住んでいるマンション・アパート等が住所地となり、住民登録（住民票）を移すことと規定されています。

あなたは現在住んでいる住所に住民登録（住民票）がありますか。

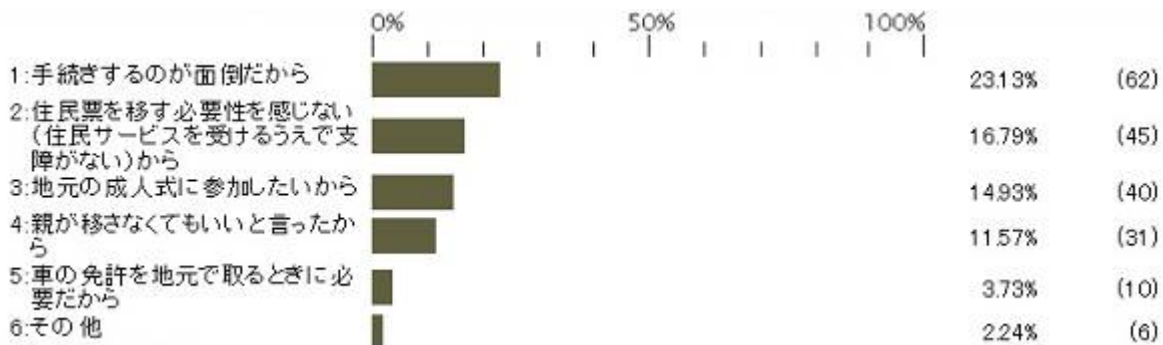
- (1) 住民票がある（自宅生または住民票を移している） : 60.45% (162人)
- (2) 住民票がない（自宅生以外で住民票を移していない） : 39.55% (106人)



問5 【任意・複数回答可】問4で「住民票がない」を選択された方のみお答えください。

あなたはなぜ、住民票を現在の住所地に移していないのですか。（複数回答可）

- (1) 手続きをするのが面倒だから : 23.13% (62人)
- (2) 住民票を移す必要性を感じない（住民サービスを受けるうえで支障がない）から : 16.79% (45人)
- (3) 地元の成人式に参加したいから : 14.93% (40人)
- (4) 親が移さなくてもいいと言ったから : 11.57% (31人)
- (5) 車の免許を地元で取るときに必要だから : 3.73% (10人)
- (6) その他 () : 2.24人 (6人)



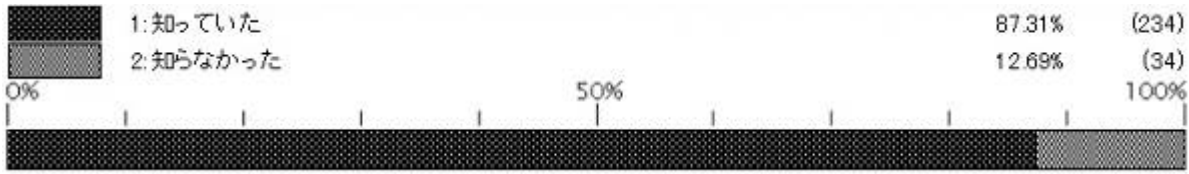
【その他 自由回答】

- ・卒業後は地元に戻る（就職）する予定だから（4人）
- ・休学で実家に引っ越したため（1人）
- ・知らなかった。（1人）

問6 【必須】 選挙は原則、住民票の所在地で実施することになっています。

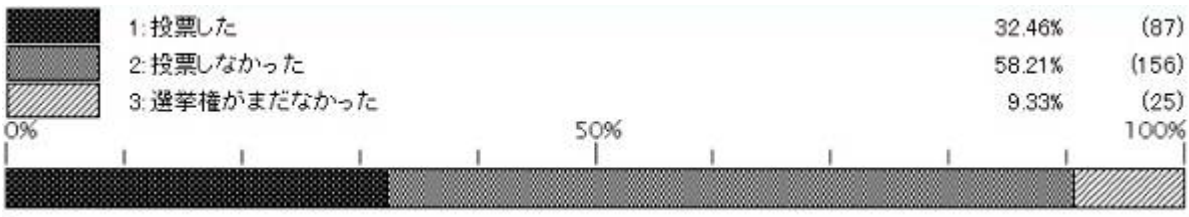
住所地に住民票がない場合、その住所地では投票が出来ないことを知っていましたか。

- (1) 知っていた : 87.31% (234人)
- (2) 知らなかった : 12.69% (34人)



問7 【必須】 ところで、平成29年10月22日実施の衆議院選挙（神戸市長選挙と同日執行）で、あなたは投票しましたか。

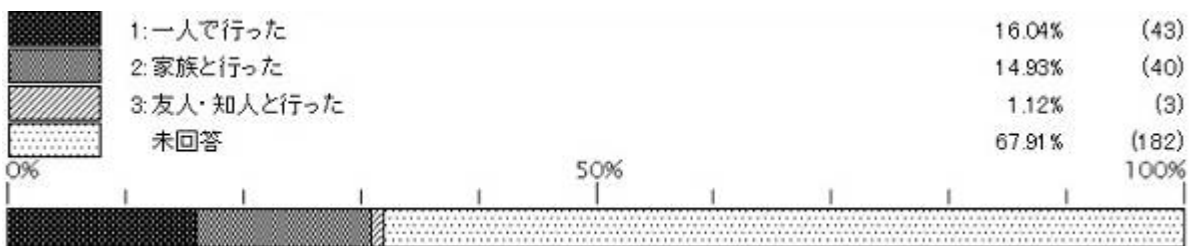
- (1) 投票した : 32.46% (87人)
- (2) 投票しなかった : 58.21% (156人)
- (3) 選挙権がまだなかった : 9.33% (25人)



問8-1 【任意】 問7で「投票した」を選択された方のみお答えください。

あなたはだれと投票に行きましたか。

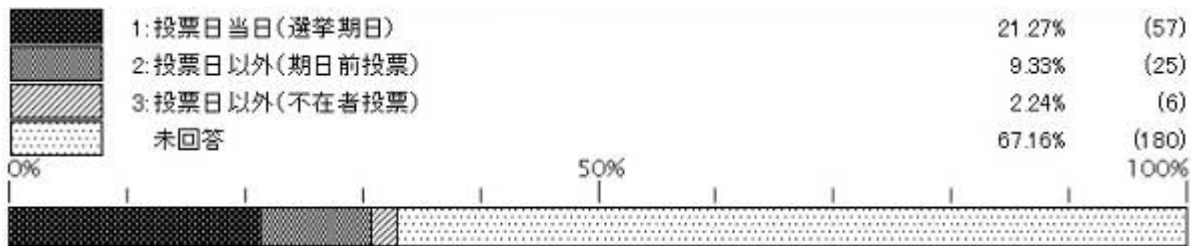
- (1) 一人で行った : 16.04% (43人)
- (2) 家族で行った : 14.93% (40人)
- (3) 友人・知人で行った : 1.12% (3人)



問8-2 【任意】 問7で「投票した」を選択された方のみお答えください。

投票は以下の項目のうち、いつ行いましたか。

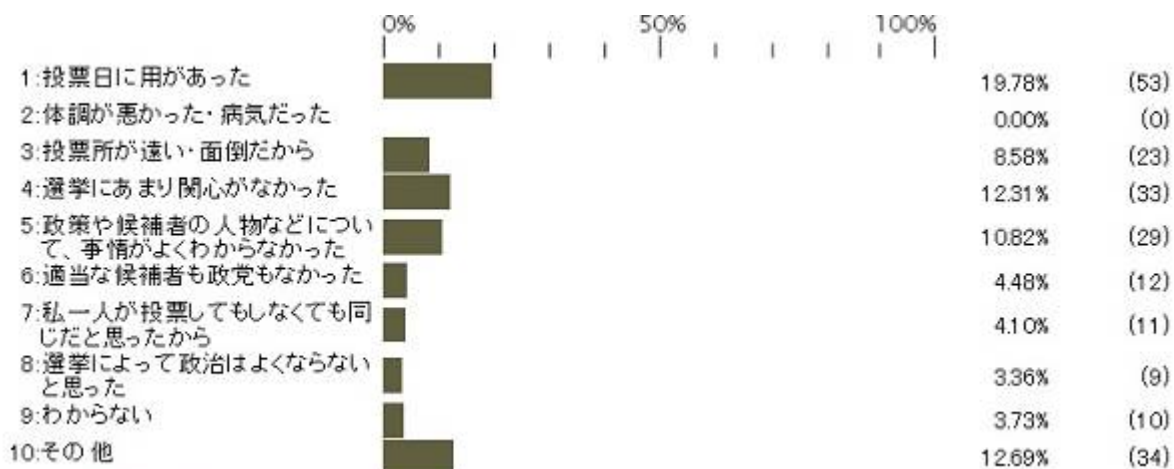
- (1) 投票日当日（選挙期日） : 21.27% (57人)
- (2) 投票日以外（期日前投票） : 9.33% (25人)
- (3) 投票日以外（不在者投票） : 2.24% (6人)



問9【任意・複数回答可】問7で「投票しなかった」を選択された方のみお答えください。

投票しなかったのはどういう気持ちからですか。[あてはまるものいくつかでも結構です。]

- (1) 投票日に用があった : 19.78% (53人)
- (2) 体調が悪かった・病気だった : 0.00% (0人)
- (3) 投票所が遠い・面倒だから : 8.58% (23人)
- (4) 選挙にあまり関心がなかった : 12.31% (33人)
- (5) 政策や候補者の人物などについて、事情がよくわからなかった : 10.82% (29人)
- (6) 適当な候補者も政党もなかった : 4.48% (12人)
- (7) 私一人が投票してもしなくても同じだと思ったから : 4.10% (11人)
- (8) 選挙によって政治はよくならないと思った : 3.36% (9人)
- (9) わからない : 3.73% (10人)
- (10) その他 () ; 12.69% (34人)



【その他 自由回答】

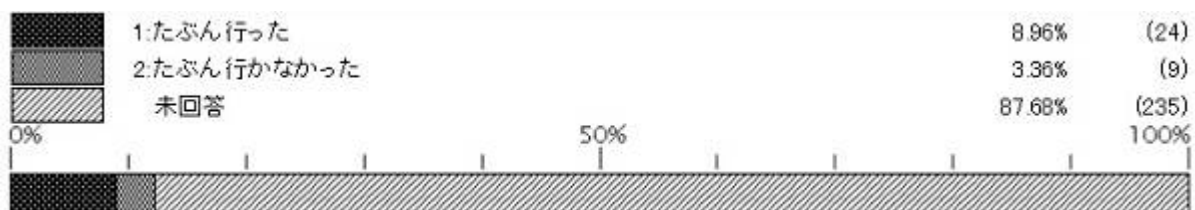
- ・住民票を移してなかった、地元に戻るのが面倒だったため (14人)
- ・留学等で国外にいたため (7人)
- ・選挙があったことを知らなかった、忘れていたため (4人)
- ・受験のため (2人)
- ・台風のため (2人)
- ・投票はがきを紛失した、届かなかったため (2人)
- ・地元の不在者投票の手続きをしていたが間に合わなかったため (1人)

- ・選挙権がなかったため（1人）
- ・生活のことで必死で選挙があること自体に気が回らず、日程等知らなかった。政治を思考することが生活の一部にはなっていないため（1人）

問10 【任意】 問7で「選挙権がまだなかった」を選択された方のみお答えください。

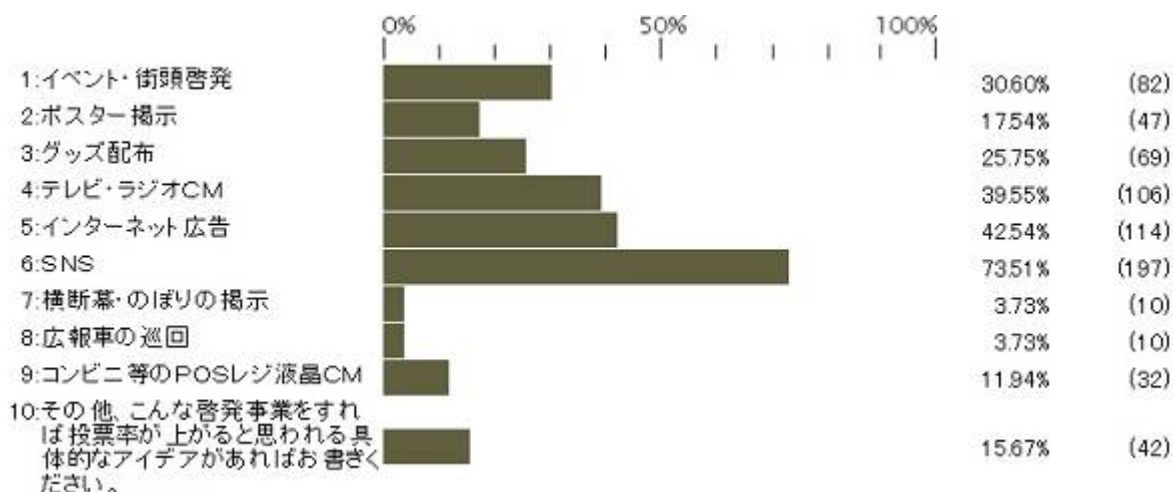
あなたはもし選挙権があったら、投票に行っていましたか。

- (1) たぶん行った : 8.96% (24人)
- (2) たぶん行かなかった : 3.36% (9人)



問11 【必須・複数回答可（5個以内）】 若い人の投票率を向上させるにはどのようなことが有効であると考えられますか。（この中から最大5つまで選んでください）

- (1) イベント・街頭啓発 : 30.60% (82人)
- (2) ポスター掲示 : 17.54% (47人)
- (3) グッズ配布 : 25.75% (69人)
- (4) テレビ・ラジオCM : 39.55% (106人)
- (5) インターネット広告 : 42.54% (114人)
- (6) SNS : 73.51% (197人)
- (7) 横断幕・のぼりの掲示 : 3.73% (10人)
- (8) 広報車の巡回 : 3.73% (10人)
- (9) コンビニ等のPOSレジ液晶CM : 11.94% (32人)
- (10) その他、こんな啓発事業をすれば投票率が上がると思われる具体的なアイデアがあればお書きください : 15.67% (42人)



【その他 自由回答】 別紙のとおり

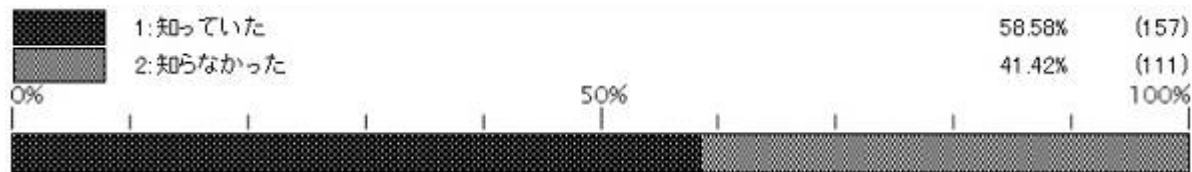
問12 【必須】投票日当日、投票に行けない方には、期日前投票所で投票する制度「期日前投票」や、滞在地や指定病院等の施設、郵便などで投票する制度「不在者投票」がありますが、知っていましたか。

- (1) 知っている : 86.57% (232人)
- (2) 知らない、聞いたことがない : 4.85% (13人)
- (3) 聞いたことはあるが、内容についてはよくわからない : 8.58% (23人)



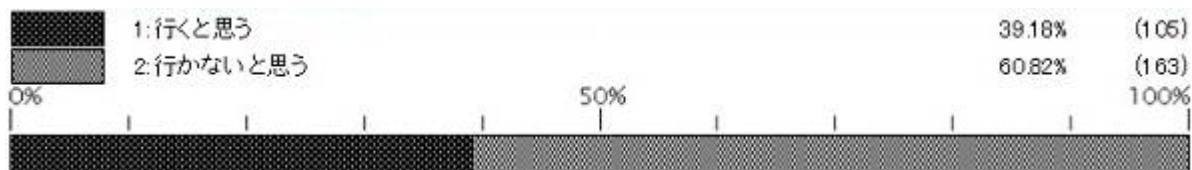
問13 【必須】神戸市外国語大学が、垂水区・西区にお住まいの方（住民票のある方）の期日前投票所だと知っていましたか。

- (1) 知っていた : 58.58% (157人)
- (2) 知らなかった : 41.42% (111人)



問14 【必須】来年4月には、神戸市会・兵庫県会議員の選挙があります。あなたは投票に行きますか。

- (1) 行くと思う : 39.18% (105人)
- (2) 行かないと思う : 60.82% (163人)



問7 【必須】ところで、平成29年10月22日実施の衆議院選挙（神戸市長選挙と同日執行）で、あなたは投票しましたか。

- (1) 投票した
- (2) 投票しなかった
- (3) 選挙権がまだなかった

問8-1 【任意】問7で「投票した」を選択された方のみお答えください。

あなたはだれと投票に行きましたか。

- (1) 一人で行った
- (2) 家族で行った
- (3) 友人・知人で行った

問8-2 【任意】問7で「投票した」を選択された方のみお答えください。

投票は以下の項目のうち、いつ行いましたか。

- (1) 投票日当日（選挙期日）
- (2) 投票日以外（期日前投票）
- (3) 投票日以外（不在者投票）

問9 【任意・複数回答可】問7で「投票しなかった」を選択された方のみお答えください。

投票しなかったのはどういう気持ちからですか。〔あてはまるものいくつでも結構です。〕

- (1) 投票日に用があった
- (2) 体調が悪かった・病気だった
- (3) 投票所が遠い・面倒だから
- (4) 選挙にあまり関心がなかった
- (5) 政策や候補者の人物などについて、事情がよくわからなかった
- (6) 適当な候補者も政党もなかった
- (7) 私一人が投票してもしなくても同じだと思ったから
- (8) 選挙によって政治はよくならないと思った
- (9) わからない
- (10) その他（ ）

問10 【任意】問7で「選挙権がまだなかった」を選択された方のみお答えください。

あなたはもし選挙権があったら、投票に行っていましたか。

- (1) たぶん行った
- (2) たぶん行かなかった

問11 【必須・複数回答可（5個以内）】若い人の投票率を向上させるにはどのようなことが有効であると考えられますか。（この中から最大5つまで選んでください）

- (1) イベント・街頭啓発
- (2) ポスター掲示

- (3) グッズ配布
- (4) テレビ・ラジオCM
- (5) インターネット広告
- (6) SNS
- (7) 横断幕・のぼりの掲示
- (8) 広報車の巡回
- (9) コンビニ等のPOSレジ液晶CM
- (10) その他、こんな啓発事業をすれば投票率が上がると思われる具体的なアイデアがあればお書きください

()

問12 【必須】 投票日当日、投票に行けない方には、期日前投票所で投票する制度「期日前投票」や、滞在地や指定病院等の施設、郵便などで投票する制度「不在者投票」がありますが、知っていましたか。

- (1) 知っている
- (2) 知らない、聞いたことがない
- (3) 聞いたことはあるが、内容についてはよくわからない

問13 【必須】 神戸市外国語大学が、垂水区・西区にお住まいの方（住民票のある方）の期日前投票所だと知っていましたか。

- (1) 知っていた
- (2) 知らなかった

問14 【必須】 来年4月には、神戸市会・兵庫県会議員の選挙があります。あなたは投票に行きますか。

- (1) 行くと思う
- (2) 行かないと思う

【任意】 メールアドレスを入力してください。

(@) (半角英数字)

※個人情報の取り扱いについて

メールアドレスはプレゼントの当選通知に利用します。

そのほかのアンケートにご記入された内容は、アンケートの結果分析のために使用し、それ以外には使用しません。